

大北地域タウンミーティング2024を開催しました

7月24日(水)、大町のサン・アルプス大町で大北地域タウンミーティング2024を47名(シニア大学生30名、賛助会員6名、一般9名、行政職員2名)に参加いただき、他支部の推進員、コーディネーター、長野県社協の協力のもと開催いたしました。

今回のテーマは「未来の「私たち」に学ぶ フューチャー・デザイン・ワークショップ」。現在のこの地域で起きていることを見つめた後、300年前のこの地域の古地図や歴史資料から当時の様子を見つめます。そして今から300年後(西暦2324年)のこの地域にタイムスリップ。参加者全員が300年後の未来人になりきって、どんな地域になっているかを語り合います。「300年前(西暦2024年)の人達が、未来の事を考えていてくれれば、こんなことになっていなかった…」、「〇〇を残してくれて、ありがとう」など、未来人になりきって現在を俯瞰することで新たな視野を獲得して、地域づくりに活かすことを目指すワークショップでした。

回収した参加者アンケートからは、「未来を考えることは、これまでなかった、よい経験になった」、「大北の自然の美しさ、守っていききたい皆の気持ちと一緒に嬉しかった」、「300年後の事を考えたことがなかった。今のうちに何とかしなくてはならないと感じた。温暖化、自然環境を守る活動、やるがあります」などの他、「もっと若い人の意見が聴きたい」、「ビデオの音が聞きにくかった」などの感想もいただきました。

来年度も、新たな気づきや新たな繋がりができるタウンミーティングを企画していきたいと思えます。



編集後記

前号でも触れましたが異常気象について、残暑とは、暦の上では秋(8月6日頃)を過ぎても残る暑さを指すようですが、今年は9月の猛暑10月にかけても、日本列島に暖かい空気が覆っていたため例年より高温に推移しました。全国各地広範囲で記録的な豪雨により、河川反乱・土砂崩れ・道路崩壊など多発、世界中でも、9/10～アフリカリビアの大洪水、2つのダム決壊で6800人超死亡、行方不明1万人、24時間の降雨量が1年間の雨量を越す記録的な大雨、9/26のアメリカのハリケーン死者1600人超(過去50年で2番目の多さ)、10/29発生したスペイン記録的な大雨での洪水では、205人の死者(同国では過去最大の被害)。

この様に世界各地で記録的豪雨で被害が拡大し、異常気象となっていることを危惧します。地球上の紛争解決は勿論、災害は忘れた頃にやって来るのではなく、必ずやって来る事を念頭に置いて環境対策に真剣に取り組む事を願いたい。 A.Y

大北地区賛助会 会報161号

令和6年11月21日 発行

*QRコードをスマホで読み取れば以前の会報もスマホで見られます



大北地区賛助会 Tel: 0261-23-6507



公益財団法人 長野県長寿社会開発センター

10月31日現在 賛助会員数 大北地区 125名・県全体 1436名

平均年齢 79.2歳

大北地区賛助会 冒頭挨拶

大町グループ長 渋田見良典

地球温暖化のせいか、今年の夏も30度越えの厳しい暑い日が続き、会員の皆様も体調管理など大変だったと思います。

大北賛助会も伊藤会長ほか新役員体制で5ヶ月がすぎ、地区賛助会連絡協議会、地区賛助会研修会、上小地区とオンライン会議、夏のスポーツ交流会、研修旅行等、会員の皆様のご協力のもと実施することが出来ました。

涼しいはずの大北地方でも近年の暑さでクーラーを設置する家も多くなり、年配者には有難いことですが、電気料の値上げもあり、気を付けて使用したつもりでも翌月の電気料金の請求書は前年同月の倍近くにもなっていたという話も聞きました。米など食料品や生活必需品も値上がりが続く、年金生活者には暮らしにくい世の中になりました。若者世代にも生活困窮者が増えているそうです。

今度の総理大臣には本気で弱者に優しい政治をしてほしいものです。

幹事会活動報告

第3回 幹事会 8月22日 大町合庁

1. ねんりんピックススポーツ交流大会9/28
2. 研修旅行
3. 秋のスポーツ交流会 10/4
4. 賛助会報第161号
5. 会員講座
6. 地区賛助会研修会報告
7. その他

第4回 幹事会 10月10日 大町合庁

1. 研修旅行報告について
2. 秋のマレットゴルフ大会について
3. 会員講座について
4. 中信地区賛助会懇談会 松本合庁 11/26
5. ねんりんピックス交流大会ホクト文化ホール11/16
6. 賛助会報第161号について
7. その他

活動報告

地区賛助会研修会の報告

伊藤佳壽美

8月19日午後1時30分より、上田市「市民プラザゆう」と大町市合同庁舎、長野市本部、理事長室を会場に上小地区賛助会と大北地区賛助会とのオンライン方式による地区賛助会研修会が行われました。当日は上小地区会賛助会より小林会長、両角副会長、松木副会長、大北地区賛助会より伊藤会長、渋田見副会長、牛越副会長、本部宮村常務、塩沢局長、黒井、荒井両主任と各支部推進員が参加しました。会議は各地区の会長の挨拶、出席者の ⇒

⇒自己紹介のあと「小さなチャレンジ」として、今自分がチャレンジしている事の発表がありました。日常生活、スポーツ、趣味、等々の心得や挑戦の様子を聞き興味を持ちました。話題については、自分たち賛助会の魅力や推し処について発表が行われ大変参考になりました。意見交換はお互いの活動に質問がありました。その内容は、両地区賛助会の事業が大変似通っていると感じました。又、会員の減少やシニア大学生等への勧誘活動や賛助会活動のPRの取組みの課題について意見交換をすることで、同じ悩みや苦労がある事を再認識しました。自由討議では参加者全員が発言してグループ活動やクラブ活動の様子を発表して有意義な会議となり、参考になりました。今後の活動に活かしたいと思います。今回の研修会で賛助会活動を通じて同じ組織と環境で学び活動し、より高みを目指す仲間が大勢いる事に意を強くしました。

行事報告

秋のマレット交流会に参加して

大町グループ 栗林貴子

10月4日に予定されていた大会が雨で中止なり、10月26日に行われた。当日会場に行ってビックリ。駐車場がいっぱい。車を置く所がないほど探すのに大変でした。当日は、大町ロータリークラブ杯ジュニア大会があり、県内より28チームが参加(約300人)の選手と家族で賑やかでした。私達のマレットゴルフ大会は、初めの人数よりだいぶ減り、参加人員20名と少々さみしい人数でしたが、大町運動公園北コース18ホールで行いました。紅葉や赤松の中を大勢の子供達の天真爛漫な声を聞きながら、心身共にリフレッシュし、楽しい時間を満喫することができました。



プレーの方は一喜一憂しながら、親睦を深め和気あいあいと楽しくプレーができた事は、最高でした。優勝者は、今回最高年齢者、95歳の男性でした。本当に素晴らしいの一言です。

何をするにも気持ちの持ち方一つです。賛助会の皆様も、いつまでもお元気で、次回の大会に参加しましょう。ご苦労様でした。次回も楽しみに待っています。

マレットゴルフ大会に参加して

白馬小谷グループ 大谷盛雄

10月4日開催予定の秋のスポーツ交流マレットゴルフ大会が雨天の為に10月26日に延期して実施されました。当初参加申し込み者が26名でしたが、開催日が変更された事により16名の参加者になり、少数精鋭の会員で競技を行いました。

当日は薄曇りの天候でしたが、会場の大町運動公園マレットゴルフ場は木々の葉が色付き初めて紅葉を愛でながらプレーが出来ました。

北コース18ホール、パー72で競いました。日頃運動不足の自分には長い距離を歩いて 疲労感がありました。日常生活において運動や体操をする事の大切さを痛感しました。

マレットゴルフを通してプレーの合間の会話や上手く行き笑ったり、失敗して残念がったり、得点を暗算して心身ともにリラックス出来て、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

入賞者の皆さんおめでとうございます。成績は次の通りでした。

- 男子優勝： 松田富男、 2位： 伊藤佳壽美、 3位： 西沢光雄
- 女子優勝： 元村悦子、 2位： 西沢富貴子、 3位： 山崎孝子

大北賛助会「北信地域の歴史を探る旅」

大町グループ 小林治男

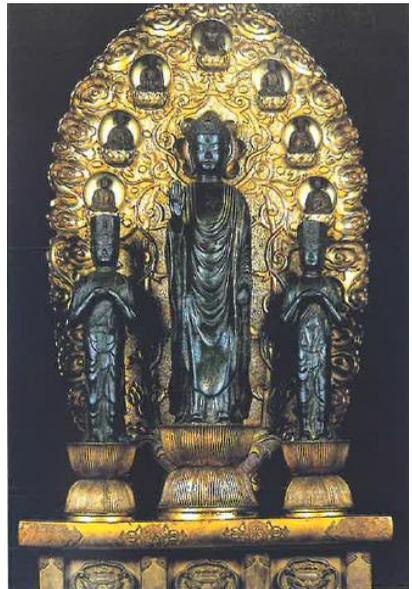
9月25日(水)天気も良く予定通り松川村の道の駅を出発し、目的地の善光寺と小布施へと向かった。参加者が全員そろったのは、白馬村役場で総勢22名です。

車中で善光寺について少し説明をさせて頂きました。入り口の石灯籠から仁王門、仲見世通りを過ぎ、山門までの石畳の数は7777枚で、善光寺は700年前に二度の火災で焼失し造営され、屋根は撞木造り(槌の形)御開帳の時に回向柱を立てる場所は、大香炉の手前線香台の下に穴が開いて普段は御影石で蓋がしてあります。

善光寺の裏側で北の駐車場に向かうと通路の右側に徳川将軍家大奥関係者春日局などの供養塔があり、左側には江戸吉原の三浦屋がたてた遊女高尾の供養塔があります。説明しているうちに善光寺第2駐車場に着いて徒歩でメインの淵之坊に到着しました。

住職の若麻績様から「お絵解き」をお聞きした後お楽しみの精進料理に舌打ちし懇親を深めました。その後、小布施に向かい街道では栗の実がたわわに実り、栗の里、小布施の宣伝が行き通っていました。

北斎会館では、特別展が開催されていて目の保養となり、皆さん御土産を求め帰路に着きました。帰りは白馬村役場から松川村の道の駅に向かって各々帰宅しました。



<前立本尊 一光三尊像>

北信地方を巡る賛助会旅行

池田グループ 竹内清隆

9月25日 長野 善光寺、小布施を回る22名の天候に恵まれた旅行でした。善光寺の宿坊「淵之坊」で住職 若麻績様より「絵解き」をしていただきました。

絵解きとは、「釈迦の前世から、阿弥陀三尊像を本尊とする善光寺の建立までが描かれた『善光寺縁起絵巻』を説明するものです。」善光寺には数えきれないほど行っていますが絵解きは初めての経験でした。その後、美味しい精進料理をいただきました。

昼食後は小布施の北斎館に行きました。北斎と言えば「北斎漫画」「富嶽三十六景」、岩松院の「八方睨み鳳凰図」などが頭に浮かびますが、この日は企画展として「北斎の植物図鑑」が開催されていました。

桜・朝顔・菊さらには大根・芋・梅にりんご、野菜や果物など草木の他にも四季を彩るさまざまな植物たちを描いた特別企画展が行われていました。

いつも目にする波の絵などと違い、線一本で描いたような単純なものから細かく線や色を重ねた繊細なものまで作品ごとに素晴らしいものでした。

旅行というのは、その時々新しい発見、経験ができる素晴らしいものです。皆さんと楽しい旅行ができました。

